

## 1. 島田叡さんを偲ぶ

<講演> 新居 大典

## 2. 長唄 ~故島田叡沖縄県知事の遺徳を讃える創作長唄~

<長唄> 東音松浦 麻矢  
<三味線> 杵屋 見佳  
松浦 凜  
<笛> 福原 一笛

~幕間~

須磨寺小池弘三貫主によるお話

## 3. ピアノとソプラノの演奏

・月桃(げっとう)  
・献奏曲「憶(おもい)」  
~島田叡氏を讃えて~

<ピアノ> 金子 浩三  
<ソプラノ> 金子 利香

故島田叡沖縄県知事の遺徳を讃える創作長唄

## 断

作詞・作曲 東音松浦麻矢

嵐たへ 摩文仁が丘に 香はしく 武陽が原の 花永遠に咲く

白妙の 松風そよぐ須磨の浦 一人の男児ありにけり  
陽光が如く天真爛漫 友と白球追い文武鍛う  
長じて官界に入りけり

時は昭和二十年一月 戦雲急 米軍沖縄進攻間近し  
島田叡に沖縄県知事の内命あり

「誰ぞ代わりて危地に赴けと言えまゝ」  
断じて行えば鬼神もこれを避く

「断」の一文書き遺し敢然と赴く

身命投げ打ちて民の生命と生活を守らんと東奔西走  
島人と苦難を共にし 信を得る

米軍上陸 空爆 艦砲射撃 火焰放射 まさに鉄火の嵐  
激戦九十日 死者二十万あまり  
遂に知事一行 島の果てに追い詰められる

摩文仁の洞窟で一同に最後の言葉  
「もはやこれまで、汝ら生きて沖縄と日本の平和に尽力せよ」と

齢四十四 華と散る

戦敗れど空青く地に花咲く 小鳥囀り陽輝く  
島田の遺徳 人間愛「島守の神」と讃え偲ぶる

今日碑新たに建つ 有志満腔の思いここにあり  
摩文仁が丘と武陽が原に常盤に咲き誇れ  
われら後世に語り継がん

(平成二十年制作)

## 月桃

作詞・作曲 海勢頭豊

1 月桃ゆれては 花咲けば  
夏のたよりは 南風  
緑は萌える うりずんの  
ふるさとの夏

2 月桃白い 花のかんざし  
村のはずれの 石垣に  
手に取る人も 今はいない  
ふるさとの夏

3 摩文仁の丘の 祈りの歌に  
夏の真昼は 青い空  
誓いの言葉 今も新たな  
ふるさとの夏

4 海はまぶしい 喜屋武の岬に  
寄せる波は 変わらねど  
変わるはてない 浮世の情け  
ふるさとの夏

5 六月二十三日待たず  
月桃の花 散りました  
長い長い 煙たなびく  
ふるさとの夏

6 香れよ香れ 月桃の花  
永久に咲く身の花心  
変わらぬ命 変わらぬ心  
ふるさとの夏

献奏曲「憶」おもい　島田穀氏を讃えて

作曲／金子浩三

このグラウンド このユーカリブタス みな目の底に 心の中に収めて 島田穀は沖繩へ赴いた  
一九四五年六月下浣 摩文仁丘近くで かれもこれも 砕け散った (詩文：竹中 郁)  
ふるさとの いや果て見んと 摩文仁山の 巖に立ちし 島守のかみ (短歌：仲宗根政善)  
島守の 塔にしづもる そのみ魂 紅萌ゆる うたをききませ (短歌：山根 脊)  
嵐たへ 摩文仁が丘に 香しく 武陽が原の花 永遠に咲く (短歌：伊藤陽夫)  
島の果 世の果繋る この丘が (俳句：山口誓子)